

# 八曾地域総合防火対策治山事業概要

岡崎営林署 業務課 治山係長 城田 久之

岡崎営林署では犬山市の八曾国有林において、平成4年度から3ヵ年計画で地域総合防火対策治山事業を実施してきました。本年度が事業の最終年度でありますので、この事業の概要について報告します。

## 1 八曾国有林の概要と事業実施の目的について

### (1) 八曾国有林の概要

八曾国有林は愛知県の北西部、通称「愛岐丘陵」と呼ばれる丘陵山地の一角に位置し、犬山・八曾自然休養林の八曾地区として、清流・滝などの変化に富んだ自然景観を呈しており、春・夏の時期をピークに年間を通じてレクリエーション利用による入林者があり、愛知高原国定公園の第3種特別地域、土砂流出防備保安林、保健保安林、砂防指定地などに指定されております。

またこの国有林は名古屋市近郊に位置しており、国有林周辺の開発と都市化が急速に進んでおり、林野火災の危険性も高くなっております。

### (2) 事業実施の目的

国有林周辺の開発と都市化の進展により増大する林野火災の危険性に対応して、「より耐火性の高い森林の造成・整備」「防火管理施設の整備・充実」により八曾国有林の防火機能の向上を図り、周辺住民の安全に資することを事業実施の目的としております。

## 2 事業の内容

全体計画及び年度毎の実施計画の策定にあたっては、地域消防関係の協力が第一に重要であるという基本に立ち、名古屋営林支局治山課の指導・協力のもとに、犬山市及び犬山市消防本部などと現地での検討会をはじめ、数回に及ぶ意見・要望を聞く機会を設けてまいりました。

こうした打合せをもとに、貯水ダムの位置、管理車道・管理歩道の配置、監視施設の規模などに工夫をしました。

事業内容は下表のとおりであります。

事業内容	工 種	数 量
治山施設整備	防水用貯水ダム	1 基
森 林 整 備	森林整備（本数整理伐・植栽・保育）	5 6 HA
	防火林帯造成（本数整備伐・植栽・保育）	8 HA
附 帯 施 設  整 備	監視施設（監視広場・監視塔）	1 式
	防火管理車道（今井～野営場線、監視広場支線）	3.160 m
	防火管理歩道（巖頭洞線、八曾滝線）	1.750 m
	標識等	1 式
調 査 費		1 式

※ 事業費総額 203,758千円

### 3 事業実施後の検証

主要工事が完成した、平成6年4月に名古屋営林支局と岡崎営林署の合同植樹祭において、犬山市消防本部及び名古屋市消防局の協力のもとに林野火災合同防火訓練を企画し、地上及び航空消化の実地演習を行いました。また犬山市消防本部により防火貯水ダムの機能チェックが実施されました。

こうした訓練及び施設のチェックにより、事業実施内容が適切であったことが検証され、地域の消防関係との協力が一層強いものとなりましたが、平成6年8月の気象観測史上まれに見る異常乾燥と渇水の時期に実際の火災が発生し、ハード及びソフト面において実践で試されることになりました。

火災発生当時の林地の状況は、長期にわたる日照りにより表層は完全に乾燥しており、わずかな火種によっても発火する状態であり飛び火による大面積の火災に広がる危険性が非常に大きな

ものであり、気象状況も同様でありました。

地域の消防関係の出動及び対応は極めて迅速で、地上および航空消火活動も的確に行われ、火災発生から鎮火までに19時間で消失面積は2ha程度と当時の諸条件から見れば最小限にくい止めることができました。

この消火活動を通じ、改めて事業実施による管理車道などの諸施設が効果的に機能し、事業実施の効果が検証されました。

#### 4 ま と め

(1) 地域総合防火対策治山事業の実施にあたっては、地域消防関係との協力関係が非常に重要であることが、あらためて確認されました。

計画策定の段階での地域消防関係との打合せや、工事完成後の訓練などによる施設のチェックを通じて、林野火災発生に対する地域消防との協力関係が強固なものとなり、整備された施設も有効に機能するものとなります。

(2) 整備された施設は、その機能を維持するために管理が必要であります。

管理車道などの施設は、放置すれば降雨などにより荒廃しその機能を維持することができなくなります。また防火用貯水ダムの堆砂等の除去、防火林帯の維持など機能維持のための管理が必要であります。